

三大ピアノ協奏曲の響宴

2015

演奏曲目

ベートーヴェン
ピアノ協奏曲第5番変ホ長調 作品73「皇帝」

チャイコフスキー
ピアノ協奏曲第1番変ロ短調 作品23

ラフマニノフ
ピアノ協奏曲第2番ハ短調 作品18



ピアノ／清水和音
指揮／梅田俊明
管弦楽／東京フィルハーモニー交響楽団



2015年3月15日(日)

13:15 開場 / 14:00 開演

東京芸術劇場 コンサートホール

S席: ¥7,500 A席: ¥6,500 B席: ¥5,500

(全席指定・税込) ※未就学児入場不可

▼チケット

チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード: 251-920)

東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

ローソンチケット 0570-000-407 (演劇・クラシック用オペレーター)
0570-084-003 (Lコード: 37099)

CNプレイガイド 0570-08-9999 (オペレーター対応)

イープラス <http://eplus.jp/>

楽天チケット <http://ticket.rakuten.co.jp/>

サンライズオンライン <http://sunrisetokyo.com/>



©K.Miura

清水和音

Kazune Shimizu / Piano

完璧なまでの高い技巧と美しい弱音、豊かな音楽性を兼ね備えたピアニスト。

ジュネーブ音楽院にて、ルイ・ヒルトブラン氏に師事。1981年、弱冠20歳で、パリのロン＝ティボー国際コンクール・ピアノ部門優勝、あわせてリサイタル賞を受賞した。1982年、デビュー・リサイタルを開き、高い評価を得た。1983年第9回日本ショパン協会賞を受賞。同年「ブラハの春音楽祭」にて、ブラハ室内

管と共演。この成功により1984年、ブラティスラヴァ音楽祭のオープニングでスロヴァキア・フィルのソリストとして招待された。また同年、ミュンヘンのヘラクレス・ザール

でデビュー・リサイタルを行った。ロジェストヴェンスキー指揮ロンドン交響楽団、ジャンンドレア・ノセダ指揮キーロフ歌劇場フィルハーモニー管弦楽団、ゲルギエフ指揮マリンスキー歌劇場管弦楽団、アシュケナージ指揮シドニー交響楽団などと共演を重ね、国内外で広く活躍。室内楽の分野でも活躍し、共演者から厚い信頼を得ている。

1995年秋から2年にわたって行われた、ベートーヴェンのピアノ・ソナタ全32曲演奏会は、その完成度を新聞紙上で高く評価され、ライブ録音がリリースされている。

2004年からはショパンの全曲録音を開始。これまでにオクタヴィア・レコードから多数のCDをリリースしており、各誌で絶賛されている。

2011年8月には、デビュー30周年を記念して、ラフマニノフのピアノ協奏曲第1番～第4番とバガニニの主題による狂詩曲の全5曲を一度に演奏するという快挙を成し遂げた。

また、2014年から2018年にかけて年に2回、合計10回のリサイタル「清水和音ピアノ主義」をスタートさせた。東京音楽大学教授。

東京フィルハーモニー交響楽団 Tokyo Philharmonic Orchestra



1911年創立の日本で最も古い歴史と伝統を誇るオーケストラ。約150名のメンバーをもち、シンフォニーオーケストラと劇場オーケストラの両機能を併せもつ。常任指揮者にダン・エッティンガー、桂冠名誉指揮者にチョン・ミョンフン、桂冠指揮者に尾高忠明と大野和士、首席客演指揮者にウラディーミル・フェドセエフらを擁する。

「定期演奏会」をはじめ「午後のコンサート」や「こども音楽・館」などクラシック音楽を広く普及させる自主公演の他、新国立劇場のレギュラーオーケストラとしてオペラ・バレエ演奏、NHKにおける『ニューイヤーオペラコンサート』『FMシンフォニーコンサート』『名曲アルバム』、さらに『題名のない音楽会』『東急ジルベスターコンサート』などにより全国の音楽ファンに親しまれる存在として、高水準の演奏活動とさまざまな教育的活動を展開している。

海外公演もこれまで数多く行い、近年では2005年11月のチョン・ミョンフン指揮による「日中韓未来へのフレンドシップツアー」に続き、2013年12月に韓国・大邱市の招聘により日本から唯一アジア・オーケストラ・フェスティバルに出演、2014年3月にはアジア・欧米6か国を巡るワールド・ツアーを行い国内外の注目を集めた。

1989年からBunkamuraオーチャードホールとフランチャイズ契約を結んでいる。また東京都文京区、千葉県千葉市、長野県軽井沢町と事業提携を結び、各地域との教育的、創造的な文化交流を行っている。昭和62年度芸術祭賞、平成7年度芸術祭大賞、平成16年度芸術祭優秀賞、また「音楽の未来遺産」三善晃管弦楽作品シリーズ3公演のライブCD（カメラータ・トウキョウ、平成20年10月）が平成20年度芸術祭優秀賞を受賞した。他に、昭和59年度に第8回音楽之友社賞と第8回ゆとりずと賞（味の素社）、平成13年度ミュージック・ペンクラブ賞（クラシック部門・日本人アーティスト）などを受賞している。

公式ウェブサイト <http://www.tpo.or.jp/>

公式フェイスブック <https://www.facebook.com/TokyoPhilharmonic>



©K.Miura

梅田俊明

Toshiaki Umeda
/ Conductor

国後日本センチュリー、仙台フィル、神奈川フィルの指揮者を歴任。NHK響、新日本フィル、東京都響、読売日響、日本フィルを始め国内主要オーケストラとの共演を重ねている。2000年より仙台フィル常任指揮者に就任。オーケストラの発展に情熱を注ぎ込み、06年3月までその任を務めた。06年には大ブームとなったドラマ「のだめカンタービレ」に演奏及び指揮指導で参加し、注目を集めた。国内だけでなく96年には南西ドイツ・フィル、スロヴァキア・フィルの定期演奏会にも出演しいずれも好評を博した。的確な棒さばきと音楽に対する誠実な姿勢でオーケストラからの信頼も厚い。

桐朋学園大学、東京藝術大学非常勤講師。

84年桐朋学園大学音楽学部卒業。86年同研究科修了。指揮を小澤征爾、秋山和慶、尾高忠明の各氏に師事。83、84年にはジャン・フルネ氏にも学ぶ。86年よりウィーン国立音楽大学指揮科に留学、ホルマ・スイトナー氏に師事し研鑽を積んだ。帰

三大ピアノ協奏曲の響宴 2015